

# 東海市 文化創造プラン Ⅱ

2024 - 2033  
令和6年度 - 令和15年度

概要版

令和6年(2024年)3月  
東海市



## プランⅡの策定にあたって

東海市文化創造プランⅡは、市民との協働による文化創造の取組みをさらに活性化させ、文化芸術の持つ力により、「住んで良かった、住み続けたい」まちづくりやひとづくりを推進していくための計画です。

本市では、平成 25 年度（2013 年度）に、文化芸術の持つ力を活かして、「住んで良かった、住み続けたい」まちづくりを進めることを目標に、「東海市文化創造プラン」を策定し、これまで、平成 27 年（2015 年）10 月に開館した芸術劇場を中心とした様々な文化芸術振興に向けた施策を行い一定の成果をあげてきました。

このたび、本市を取り巻く社会的背景の変化などをふまえ、「第7次東海市総合計画」（計画期間：2024 年度～ 2033 年度）の策定、上位計画である「とうかい教育夢プランⅢ」（計画期間：2024 年度～ 2033 年度）の改定にあわせ、「東海市文化創造プラン」の理念や目標達成に向け、文化芸術の振興、そして、文化芸術を活かしたまちづくり、人づくりをこれまで以上に進めていくため、「東海市文化創造プランⅡ」を策定しました。

今回のプランⅡでは、現在検討が進められている「中学校の部活動の地域移行」についても記載しています。

「部活動の地域移行」については、子どもたちの文化芸術活動に様々な影響があると考えられます。それらの影響が、将来に向けてより良いものとなる様、検討が必要です。また、吹奏楽部は活動する生徒数が一番多いことから、吹奏楽の今後の活動方法や活動場所について、先行して検討を進めるとともに、引き続き、その他の文化芸術活動についても同様に検討する必要があると考えます。

デジタル技術を活用した文化芸術活動については、令和7年(2025年)開館予定の「創造の杜交流館」などを活用していくことも視野に入れた検討を進めるとともに、地域にある教室や有志の市民、文化協会の会員や大学が保有する人材などと連携・協力することで活動をサポートし、子どもたちの未来に向けて幅広く選択肢を提供することが重要です。

地域移行後も、文化芸術活動の拠点である芸術劇場として、子どもたちの活動継続に向けた選択肢となるよう、劇場を拠点に活動している団体の情報や地域にある活動場所の状況などを提供することにより、児童・生徒が文化芸術活動をやりたい、学びたいという気持ちに寄り添った環境をつくり、継続的なサポートを行うことが必要だと考えています。

## 基本理念

- 市民の自主性と創造性を育み、地域の絆を形成する文化芸術の振興を図ることで、市民一人ひとりの文化芸術への関心を高めるとともに文化芸術を愛する心を醸成し、まちへの愛着と誇りにつなげていきます。
- 本市の将来に向けて、次代を担うひとづくり、さらには、持続的な活力を持ったまちづくりを実現していきます。

## 文化芸術を愛し、心輝く市民が育つまち



## 基本目標と施策

観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業などの分野と連携しつつ、基本理念を実現するため、市民が主体的に文化芸術に取り組む将来像として四つの基本目標を掲げます。

文化芸術を愛し、心輝く市民が育つまち

### 基本目標

文化芸術への  
関心と感性が高まる

～知る～

だれもが身近に  
文化芸術に親しんでいる

～鑑賞する～

多彩な文化芸術活動  
を行っている

～活動する～

文化芸術を支える人  
とまちが育つ

～育む～

### 将来イメージ

- 文化芸術に関する取り組みの情報が入手しやすい
- 文化芸術活動のための情報が入手しやすい
- 文化芸術活動を行いやすい仕組みがある
- 文化芸術関連のイベントなどが定期的に開催され、にぎわいが生まれている
- 文化芸術を通じた市独自の特性やイメージが高まっている

- 市民が文化施設を日常的に利用している
- 身近な空間で文化芸術に関わるきっかけが増えている
- 子どもから大人までが楽しめる様々なジャンルの文化芸術事業が展開されている
- 子どもたちが文化芸術に身近に触れることができる
- 気軽に参加できる参加体験事業が充実している
- 地域の歴史や文化に触れる機会が日常的にある

- 市民が主体的に文化芸術活動に取り組んでいる
- 子どもから大人までが継続的に取り組める文化芸術関連講座などが充実している
- 地域の活動拠点を様々な活動に利用している
- 活動や発表をする場や機会が充実している
- 専門家による質の高い指導を受ける場や機会がある

- 次代の文化芸術を担う人材が育っている
- 文化芸術活動を実践する市民が増えている
- 文化芸術活動を支える市民の輪が広がっている
- 文化芸術活動に関するボランティアの仕組みがある
- 団体において人材育成と創造活動の基盤がある
- 地域の文化資源をまちづくりに生かしている

### 施策

文化芸術に関する情報の収集と提供

文化創造拠点ネットワークを生かした情報発信

市独自の特性を生かした文化イメージの発信

多彩な企画による鑑賞事業の実施

学校などと連携したプログラムの実施

郷土の偉人に関する学習プログラムの実施

地域における参加体験事業の実施

生涯学習講座や学習プログラムの充実

文化芸術活動のための環境づくり

活動支援のための相談機能の拡充

文化芸術関連団体の活動支援

次代を担う人材の育成

市民参加事業の充実、市民スタッフの育成

市民の主体的な活動の促進

山車文化など地域の文化資源を生かしたまちづくり

### 事業例

- 文化芸術情報のデータベース化
- メディアを活用した情報発信の仕組みづくり

- 芸術劇場への総合インフォメーションの設置
- 文化施設の共同広報事業

- 東海市子どものオーケストラ育成基金寄附者への情報発信
- 地元企業メセナ活動の推進

- 多彩なジャンルのコンサート
- 絵画、写真などの企画展

- 小・中学生劇場招待コンサート
- 大学などの一般市民向けの公開講座・セミナー

- 平洲記念館講座
- 嚶鳴広場事業

- 福祉施設などへのアウトリーチ「ふれあいコンサート」
- コミュニティ・ワークショップ

- 市民大学「平成嚶鳴館」への支援・連携
- 歴史講座

- 文化施設などの管理・運営事業

- 文化創造拠点ネットワークを生かした活動団体などへの支援

- 東海市文化協会活動事業への支援
- 交流パフォーマンス、交流ギャラリー

- 東海市子どものオーケストラ
- 「おんがくさん はじめてコンサート」(保育園児対象)

- 市民スタッフ育成事業
- 芸術劇場「友の会」制度

- 文化芸術表彰制度
- 東海秋まつり・文化祭

- 創造の社交館との連携
- 伝統芸能の保存と継承事業

目標ごとに推進施策を定め、施策展開の方向性を示すことにより、具体的な事業実施を図ります。



## プランの推進

### 各主体の役割

プランの推進に向けては、市民、団体、大学などの教育機関、企業・事業者、市などが協働しそれぞれが主体的に取り組むことで、文化芸術の持つ力を生かしたまちづくり、ひとづくりを進めていきます。

#### 市民

～文化芸術を楽しみ、積極的に活動に参加する～

文化芸術のさまざまな活動に積極的に取り組む主要な「文化創造の担い手」となります。

#### 文化芸術関連団体

～市民の創造活動の基盤となり、次代の人材育成を担う～

市民の創造活動の基盤として、次代の人材育成を進めるために、だれにでも開かれた文化芸術活動を盛んにしていきます。

#### 大学などの教育機関

～知的資源や体験の場を提供し、市民の学習意欲や感性を高める～

保有する人材やノウハウ、知的資源などの提供を行うことにより、子どもや若者の感性を高め、市民の知性を育み、文化芸術活動を推進させます。

協働

#### 企業・事業者

～事業を支援し、まちなかで文化芸術を演出する～

文化芸術事業への協賛などメセナ活動を展開し、企業の視点から幅広い活動を行います。

#### 市

～市民の活動を支え、各主体と連携し「文化のまち」を創造する～

文化芸術活動の環境整備や人材育成などさまざまな文化施策を進めます。そして、市が取り組む文化施策と市民をはじめとする各主体の積極的な文化芸術活動を重ね合わせ、「文化のまち」を創造していきます。